

9

阿蘇花野再生プロジェクト

～生物多様性豊かな阿蘇の草原を未来に引き継ぐ～

- 実施主体 認定 NPO 法人 阿蘇花野協会
- 実施場所 Pro Nature Reserve 阿蘇花野トラスト
(阿蘇郡高森町野尻・尾下)
- 実施期間 平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日



<背景・ねらい>

NPO 法人阿蘇花野協会は、阿蘇地域の希少な草原性植物が集中する山東原野で 21ha の土地を取得、放棄地や植林地だった場所を野焼き・草刈り・草集め、茅刈りなど伝統的な草原管理手法により、ハナシノブやツクシマツモトなど阿蘇の野の花が咲き誇る生物多様性豊かな草原に再生してきた。

その中には、ハナシノブ保護区となっている場所もあり、以前は群生地となっていたが、5 年ほど前にはほとんど見られなくなっていた。こうした場所も含め、全体に草刈り・草集めの面積を増やすことで、生物多様性豊かな草原「花野」を再生していく。

■実施概要

①草刈り・草集め (2019 年 9 月～11 月)

- ・およそ 20ha のトラスト地の採草地について草刈り・草集めを行った。

②防火帯づくり・野焼き (2019 年 5 月～2020 年 3 月)

- ・5 月から 11 月にかけて 1500m×20m の防火帯作りを行い、3 月 20 日に野焼きを実施した。

③茅刈り (2020 年 1 月～3 月)

- ・再生した草原に生育するススキを有効利用するために、茅刈りを行った。

④阿蘇野の花観察会 (2019 年 4 月、6 月、7 月、8 月、9 月)

- ・再生した草原の植物を観察する「阿蘇野の花観察会」を 5 回実施。

■実施体制

- ・阿蘇花野協会：諸活動実施、諸調査実施、トラスト地再生・保全
- ・地元農家：野焼き、草刈り、草集め、防火帯づくり、パトロール等協力
- ・阿蘇茅葺工房：茅刈り指導、茅束買い取り



花野協会ホームページ

■成 果

- ・阿蘇花野協会がナショナル・トラストで取得した土地約 20ha (阿蘇花野トラスト) について、草刈り・草集め、防火帯づくり、野焼きなど昭和 30 年代以前の管理形態を実施することで、草原として維持することができた。その結果、阿蘇花野トラストに生育・生息する 32 種の絶滅危惧種の生育環境を守ることができた。
- ・茅刈りでは 9 軒の農家の協力を得て、2,717 束の茅束を生産することができた。
- ・草刈り・草集めについては、環境省生物多様性保全推進事業を受託して 4 ha を保全をすることができた。防火帯づくりは会員のボランティアによるものだけでなく、阿蘇グリーンストックより輪地切りボランティアの支援もいただいた。
- ・阿蘇野の花観察会は、春・初夏・夏・盛夏・秋の 5 回、各回 30 名程度の参加で実施することができ、会員を 42 名増やすことができた。

■実施者の感想

- ・2020 年度、阿蘇花野協会の新入会員が 42 名増加した。ホームページのリニューアル効果だと思われるが、全国各地からの入会申し込みがあり、遠路からの観察会参加者も多数に上った。このため、観察会の回数を当初の 3 回から、初夏 (6 月中旬)、盛夏 (8 月上旬) の 2 回追加して、合計 5 回行った。防火帯作り・草刈り・草集めなどにも新規加入者の応援もあり、スムーズに行うことができた。